

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会第1回遊水地保全・再生検討部会 議事要旨

日 時：平成27年10月28日（水） 15時00分～17時10分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館 2階中会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：44団体中30団体（40名）、
オブザーバー：4団体中1団体（1名）が出席）

<議事要旨>

※部会については、栃木市と小山市が交互に事務局を務めることとなっており、本会は栃木市が担当。
栃木市遊水地課 與澤が司会進行。

1. 開会

司会より開会の辞。

資料の確認

2. 挨拶

※部会長を務める栃木市遊水地課長 荒川は所用により欠席のため、代理で課長補佐の小林より挨拶。

- ・昨年度、賢明な利活用検討部会で協議いただき、マナー・パンフレット（案）を作った。
- ・今年度は、遊水地保全・再生検討部会の開催となる。より良い遊水地を目指して皆様の忌憚のない意見をいただきたい。

3. 議事

【議長より】

議事に先立ち、前回の7月の合同部会でのことについて、ご意見がある。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏

- ・前回の合同部会の中で、発言により議事が混乱し申し訳ない。
- ・外来種除去のすべてに異論があるわけではなく、在来・外来に関わらず生き物に対する慈しみの思いに欠けるのではないかと思う。
- ・治水容量を確保するための第2調節地の工事が、各種提言により停滞することが心配。
- ・提言・意見に対する異論があるのは当然だが、その意見が罵声によって阻止することはあってはならない。発言がそれている場合は議長が修正する様お願いしたい。会議のルールとして再確認してほしい。

【議長より】

前段については、一色氏の意見として伺ってほしい。後段については、会議の進め方として、誰がどんな意見を発言したかはっきりさせるためにも、議長や司会により指名されてから発言いただき、議論いただくよう事務局からもお願いしたい。

(1) 遊水地保全・再生検討部会での協議内容について

【議長より】

前回の合同部会において、第2調節池についての意見が多数聞かれたので、第2調節池について利根川上流河川事務所より説明をお願いします。

○利根川上流河川事務所 森田副所長

- ・第2調節池が現在どういう動きをしているかの説明。(資料1)

渡良瀬遊水地ランドデザインを基に第2調節池を対象とした湿地保全・再生基本計画により掘削による湿地再生をする考えでいる。

湿地再生へ向けた「順応的管理」により掘削をすすめている。

環境学習フィールドは地域の人に利用して遊水地に親しんでもらうための場所である。

渡良瀬遊水地湿地保全・再生モニタリング委員会(以下、「モニタリング委員会」という)は公開して行っているのので、どのような検討内容なのか興味がある方は傍聴できる。

第2調節池の掘削については、湿地保全・再生基本計画をベースにモニタリング委員会で評価しながら順応的管理を行っている。そのため、第2調節池についての意見は、保全・利活用協議会ではなく、モニタリング委員会で議論を進めていく。

【議長より】

利根川上流河川事務所の説明について、ご意見をお願いします。

○加須市自治協力団体連合会北川辺支部 倉上氏

- ・今まで行った掘削による搬出土量はどのくらいか。

○利根川上流河川事務所 森田副所長

- ・昨年度は10万 m^3 。平成23年度から掘削しているので、おおよそ30~40万 m^3 。

【議長より】

議題の検討に入ります。幹事会で検討し、4つ提案し今後の検討内容について皆さんに議論いただきたい。

事務局より、協議内容についての説明(資料2)

○わたらせ未来基金 青木氏

- ・希少植物⇒希少動植物(昆虫等)としてはどうか。

○渡良瀬遊水地を守る利根川流域住民協議会 猿山氏

- ・どういう遊水地にしたいのか。遊水地の全体像が部会の中であるといいと思う。

・湿地再生実験地で月1回観察程度だが、調査を行っており、現状は見えている。今後の対策がボランティアでは手におえないのではないか。

- ・自然再生推進法に基づいた協議会を立ち上げるか、今現在の保全・利活用協議会をその協議会に当て

はめていってはどうか。

【議長より】

幹事会からの4つの提案、及び今提案意見をいただいたものについて、賛成意見や反対意見はありますか。

○わたらせ未来基金 内田氏

・④ごみ対策の強化について、4月に国交省や自治体を中心にクリーン作戦を行っている。また、わたらせ未来基金では3月のヨシ焼き前にゴミ拾いをしている。現在でもある程度行われているので議論するのは後でもいいのでは。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 楠氏

・国交省の意見を否定するのではなく、補完する意味で全体像を明らかにする、という一つのテーマでもいいのではないか。

○加須市自治協力団体連合会北川辺支部 倉上氏

・遊水地のランドデザインと湿地保全・再生計画ができている。それを全体像ととらえている。この場で全体像を考え直すのはかなり大変である。ランドデザインと湿地保全・再生計画を全体像ととらえるのでは駄目なのか。

○渡良瀬遊水地を守る利根川流域住民協議会 猿山氏

・その二つはイメージ図であって、具体的なプラン、目標とするものがない。絶滅危惧種を無くさないなど、現状を見て、専門の先生に話を聞きながら目標を考えていくのはどうか。

○加須市自治協力団体連合会北川辺支部 倉上氏

・おっしゃることは分かるが、話が大きすぎでこの場では話がまとまらないのでは。具体的過ぎてダメではないか。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏

・遊水地ランドデザインと湿地保全・再生計画を積極的に進めていくべき。進めたことにより生じた問題はモニタリング委員会で検討すべきこと。自然は単純ではない。対処療法的にその都度対応するしかない。

○コウノトリ・トキの舞うふるさと おやま をめざす会 浅野氏

・遊水地保全再生・検討部会の開催スケジュールは、年明けに2回予定されているようだが、来年度は引き続きやるのか、それとも他の部会をやるのか。

・モニタリング委員会の湿地再生検討委員会の再開について話題になっている。部会で全体像を協議していきたいが、他の組織との調整も必要。

・セイタカアワダチソウ、ヤナギの除去活動について、昨年度から小山市が中心となって行っているが、永続的に小山市が中心に続けていけるのかの心配もある。どこまでどのような効果があるのか正確な情

報が伝わってこない。

・セイタカアワダチソウやヤナギの除去作戦について国交省や、わたらせ未来基金の方に現状や課題を聞いてから協議してはどうか。

○利根川上流河川事務所 森田副所長

- ・モニタリング委員会が5年経った。次回開くときは、検討委員会の委員にも参加いただいてモニタリング委員会を開催したい、という流れでいる。
- ・狭いエリアの話ではなく、遊水地全体の話で考えて欲しいということ。

【議長より】

大抵は多数決になってしまうが、事務局からの4つの提案と、提案意見2つについて、どのように決めたらよいか。

皆さまから意見があったように、どれもやったほうがいいことではあるが、これを優先した方がいい、これはやめたほうがいいのかなどの意見があったら伺いたい。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏

- ・議論ばかりしていても、つまらなくなってくる。具体的に何かやりましょう。
- ・すべては無理でも、一つ二つを集中的に具体的にやる。例えば、野鳥であるならば会議の前に現地視察をみんなでやって、観察路が必要だ、ブラインドが欲しいな、などの意見が出てくるだろうから具体的に進めたら面白い。

【議長より】

今までの意見の中でも、現地を見てみないと状況が分からないという話があった。また、規約の中にもあるが、この協議会は意見交換をしながら各団体にやれることをやってもらい、その方向性を確認する場だと認識している。現地を見る必要があれば現地を見て、具体的に動く必要があればそれについて早速取り掛かるようにしていきたい。

○渡良瀬遊水地関連地域活性化協議会 新村氏

- ・外来種の駆除作戦を広めていってはどうか。
- ・事務局提案の1、2、3については専門家の方に話を伺っては。
遊水地の全体を専門家の人に見てもらって、どうしたらいいかのたたき台が必要じゃないか。
- ・1つの項目だけではなく、すべてについて、協議会の中にいる詳しい方に話を聞いてはどうか。

○巴波・永野川築堤堤防改修工事対策協議会 大久保氏

- ・自分たちは洪水対策、野鳥関係や冬水田んぼなどの農業対策から知識を得ている。
専門家と、欠席者も多い。専門的に絞って真剣味をもってやっていけるか疑問がある。
絶滅危惧種云々もまだ理解できていない。専門分野は専門の方で考えてもらい、協力できる部分を指摘いただいたほうが分かりやすい。

【議長より】

部会については4つの部会がある。すべてを動かすことができないので一つずつと言う事になっていて、現在の部会が開催されている。以前に、どの部会に参加したいかアンケートをとったが、それがあいまいになっているところもある。

部会のメンバーを希望して部会に参加している団体と、協議会の構成員として部会に参加している団体とがいる。その認識がはっきりしていないところがある。

幹事会から上げた提案は、みんなが共通に考えてもらいたいものとなっている。植物も、野鳥もどのエリアにも生育・生息しているので、必ず何かしらの関連はあると考えている。

これだったら関われる、興味があるといったものを選んでもらった方が、具体的に早めに進んでいけると思う。

○わたらせ未来基金 青木氏

・既に取り組んでいるものと言う事で、①の外来種の動植物対策から取り掛かってはどうか。②希少植物の保全、③野鳥の生育環境の保全にも関わってくる。

④は既に行政主体で継続的に行われていて、①は始まったばかりである。そういった意味では①が良いと思う。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 楠氏

・①について、約1年間除去作戦を行ってきて、今後どうしたらよいか皆さんと意見を交わす時期にあると思う。

・②について、ある団体さんで生きもの調査をしている。この生きもの調査を基礎として、取り組んでいったらどうか。

○加須市自治協力団体連合会北川辺支部 倉上氏

・④のゴミ対策の強化について、4月に大々的にクリーン作戦をやっている。個人的には①から④すべてが大切だと思う。自治協力団体の立場で、専門的なことは詳しくない。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 関口氏

・すべてをみんなで協議しても仕方がないのでは。4つの分野に分かれて話し合っって具体的なものを出して、出たものをみんなに対してオープンにするのがいいのでは。それぞれ得手不得手がある。得意な分野で意見を出すことによって一気にやってしまうのが良い。

【議長より】

大変いい意見。しかし、今でも4つに分けた部会が動いていないという現状もある。1つの部会を4つに分けると部会の部会のようになり、進めるのが困難になるのでは。

○加須市自治協力団体連合会北川辺支部 倉上氏

・部会を4つのグループに分けて意見をだしある程度詰めてから、全体部会で意見を共有する、という意味。1つの団体は1つのグループにのみ参加。

○巴波・永野川築堤堤防改修工事対策協議会 大久保氏

・自分たちは農業、治水関係のもので、野鳥関係や冬水田んぼなど、また写真についても地域の理解は得られている。それぞれの部会で一つに絞って部会に参加しても分からない。外来植物についても、よく分からない。そういう人もいる。自分が出来ること、興味があることに絞った方が協力できることが多いと思う。

○コウノトリ・トキの舞うふるさと おやま をめざす会 浅野氏

・共通認識を持つこと、意識の共有が重要。得意な人が得意分野の議論をするのでは今までと変わらないのでは。外来種対策は非常に大切。まずは現状を正確に把握できるよう、国交省、未来基金、小山市などから話を伺い、課題を明らかにしてから、意見をいただくのがよいと思う。外来種の問題については一部専門家だけでなく、こういった協議会の場で共通認識を持つことが重要である。

○渡良瀬遊水地を守る利根川流域住民協議会 猿山氏

・外来種の問題については今までに携わっている方達がいる。携わっている団体で得意分野について現状、実施していること、問題点、改善点などレポートを作って発表して理解してもらい、それに対する意見を今年度の2回で4つすべてを全体協議を行ってはどうか。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 関口氏

・4つやりたいのであれば、事前に宿題として自分の考えをそれぞれつくり、次回出してもらいそれに対する他の方の意見が出てくるのは必要。昨年、マナー・パンフレット案のときにやったようにしてはどうか。

【議長より】

自分の活動の範囲では知らないことも多くある。それぞれ活動している方々から意見を伺うことから始めて、現状や課題、改善点について話を伺い、それについて様々な意見を出す。幹事会でフォーマットをつくり、みなさんにお渡ししてご意見を伺いたい。

○加須市自治協力団体連合会北川辺支部 倉上氏

・事務局で意見を取りまとめ、整理してもらって、部会に挙げてもらうのが効率的。

○わたらせ未来基金 内田氏

・外来種を除去することによってどうなるのか、ゴミを拾うことによって遊水地の景観が来訪者にどんな印象を与えるか、などすべてが関わってくる。
・小山市で行っている外来種除去についても、何も知らない人が参加していくことによって、経験して初めて参加した人の考えが変わっていくのではないかと思う。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 水野氏

・最初に意見があったように、項目②の希少植物を、希少動植物と修正してはどうか。

○（一財）アクリメーション振興財団 白井氏

・ラムサール条約に登録になった渡良瀬遊水地をいかに保全し、その環境を残すためにこの検討が始まった。遊水地全体としての課題、4つ挙げられているが、なぜそれが課題なのかを明確にしていけば、検討の内容もスムーズに進む。もう少し、具体的な資料を提示いただきながら議論に進んでほしい。幹事会などで協議のスケジュールを示してもらい、意見をまとめてから協議することが必要だと思う。

【議長より】

幹事会でご提示した4つの件の中の、②の希少植物を希少動植物として、4つの事柄について部会で検討していくことにしたい。

構成員の皆様は4つの事柄について、現状について知っていること、それについてどのような活動をしているかなどを伺うアンケートを事務局から送るので、分かる範囲で回答に協力いただきたい。

4. 情報交換

○利根川上流河川事務所 森田副所長より説明

・9月の関東・東北豪雨 渡良瀬遊水地を中心とした出水の報告について（資料3）

○わたらせ未来基金 青木氏より情報提供

・わたらせ未来基金活動の一部ご紹介（資料4）

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏より情報提供

・第59回渡良瀬遊水地野鳥観察会（遊鳥会）定例会資料（資料4）

○野木町政策課 鈴木氏より情報提供

・野木町交流センター建設の紹介（リーフレット）

○事務局より

・平成28年度スケジュールの説明（資料5）

5. その他

○利根川上流河川事務所 調査課 高橋専門管

・マナーパンフレットの配布部数等についてのご説明

6. 閉会

司会より閉会の辞